

# 千葉大学医学部附属病院で病理診断を受けた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年3月18日

病理診断科

病理診断科では、癌肉腫として肺転移再発を来した卵巣 mesonephric-like adenocarcinoma に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

## 本文書の対象となる方

2022年4月1日～2022年6月30日の間に卵巣癌肉腫と診断された方

### 1. 研究課題名

癌肉腫として肺転移再発を来した卵巣 mesonephric-like adenocarcinoma の病理学的検討

### 2. 研究期間

承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学附属病院生命倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

### 3. 研究の目的・方法

Mesonephric-like adenocarcinoma (以下、MLA) は、近年その概念が作られた卵巣や子宮に発生する稀ながんです。一方、癌肉腫は卵巣や子宮の他、肺など様々な臓器に発生する稀ながんです。卵巣に発生する癌肉腫はすべての卵巣がんの1%程度とされています。卵巣 MLA が癌肉腫に変化して他臓器に転移することがありますが、その原因については分かっていません。

本研究では、癌肉腫として肺に転移した卵巣 MLA の手術検体を用いて病理学的特徴や遺伝子を調べることで、卵巣 MLA から癌肉腫に変化する原因の特定や新しい治療法の開発につながる可能性があります。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えた試

料・情報は公益財団法人かずさ DNA 研究所または株式会社マクロジェン・ジャパンに提供され、解析がおこなわれます。氏名等と研究 ID との対応表は外部には提供されません。

#### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

手術時に採取された腫瘍組織検体

診療録に記載されている年齢、性別、身長、体重、病歴、病理診断、血液検査値など

#### 5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：病理診断科 助教 太田 昌幸

#### 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院病理診断科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

#### 7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。世代を越えて受け継がれると想定される遺伝子異常の解析は行いませんが、必要に応じて遺伝カウンセリングを受けていただくこともできます。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学医学部附属病院

病理診断科 助教 太田 昌幸

043 (222) 7171 内線 6401